

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

2017年度第1四半期 決算発表

(2017年4月1日～2017年6月30日)

2017年7月31日
取締役 常務執行役員
田原 永三

2017年度第1四半期 決算概要

2017年度第1四半期 決算概要

	2017年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減		※上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	1,077	1,054	+22	+2.1	2,125	50.7
（うち海外売上収益）	256	250	+5	+2.2	537	47.7
海外売上比率	23.8%	23.8%			25.3%	
売上原価	425	400	+25	+6.3	825	51.6
売上原価率	39.5%	38.0%			38.8%	
売上総利益	651	654	△3	△0.5	1,300	50.1
コア営業利益	219	290	△70	△24.2	415	53.0
営業利益	210	292	△81	△27.9	405	52.0
四半期利益 （親会社帰属）	169	219	△49	△22.5	325	52.2

為替(\$)(期中平均)

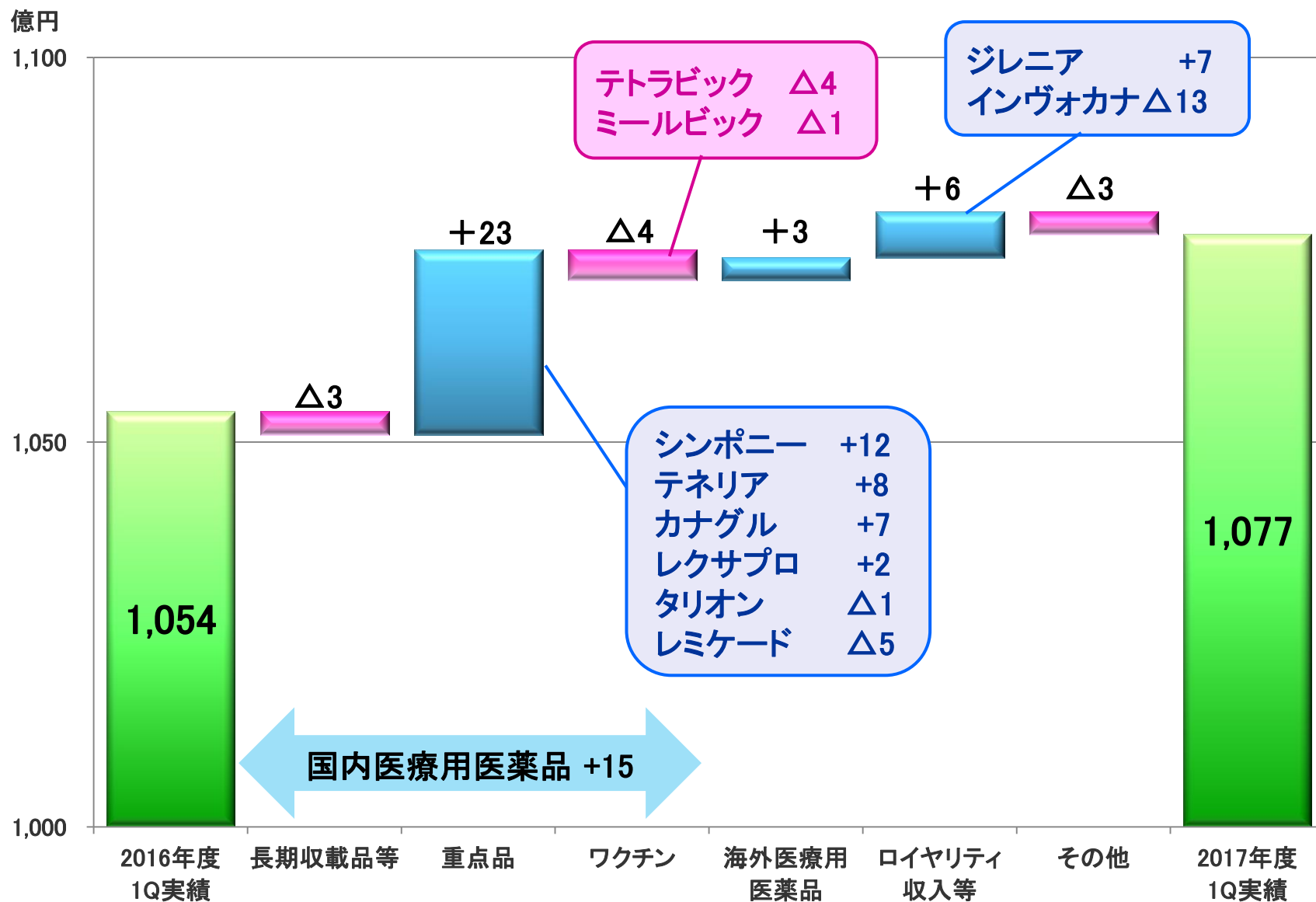
111.42円

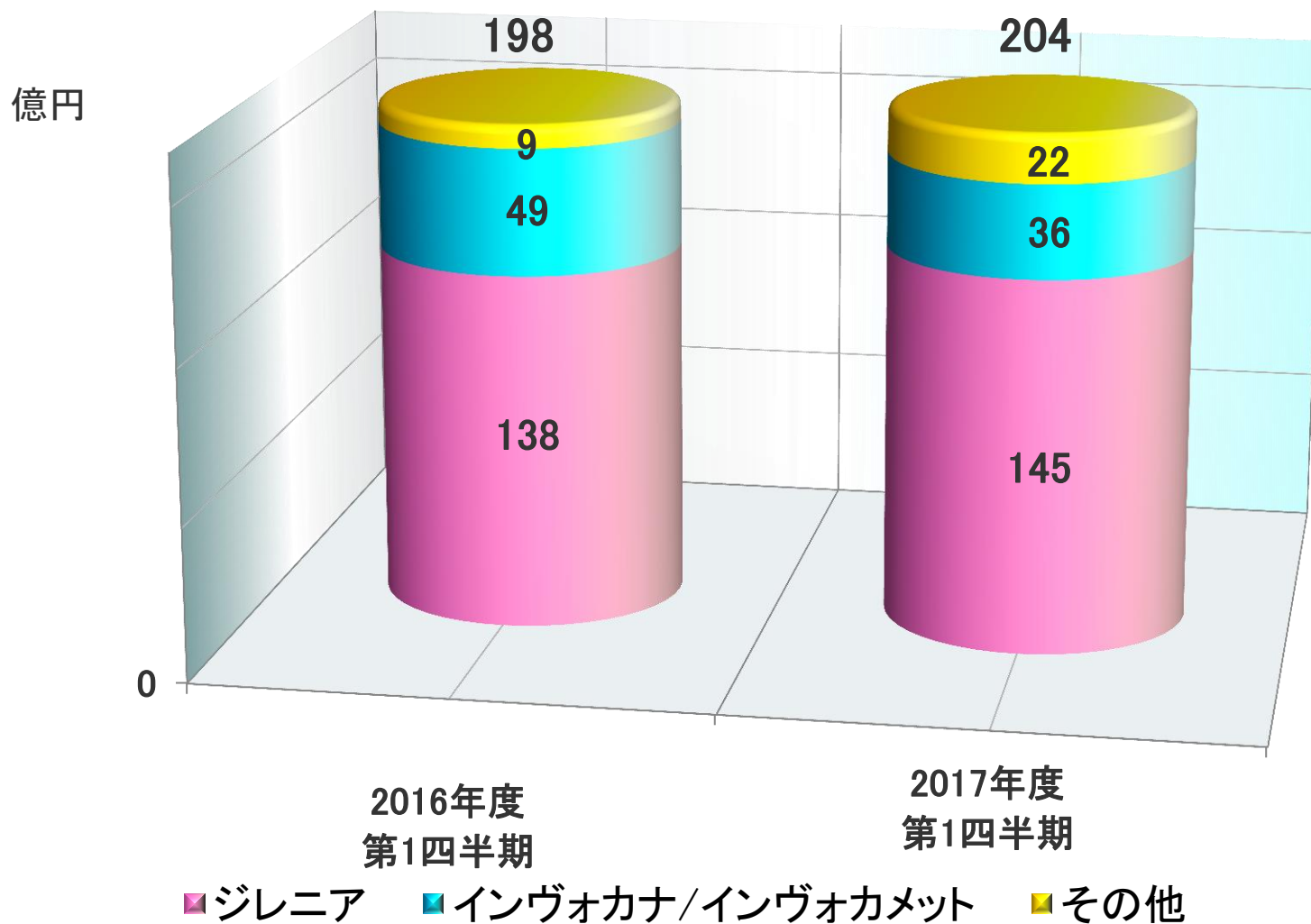
107.87円

110.00円

※上期予想:2016年度決算発表時(2017年5月10日)公表

売上収益の増減





<為替レート(期中平均)>
米ドル

107.87円

111.42円

売上原価・販管費・コア営業利益

	2017年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減		※上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	1,077	1,054	+22	+2.1	2,125	50.7
売上原価	425	400	+25	+6.3	825	51.6
売上原価率	39.5%	38.0%		+1.5	38.8	
売上総利益	651	654	△3	△0.5	1,300	50.1
販管費	244	215	+28	+13.1	520	47.0
研究開発費	180	145	+35	+24.7	355	51.0
製品に係る無形資産償却費	5	3	+1	+42.8	10	52.7
その他損益*	△1	+0	△1	-	-	-
コア営業利益	219	290	△70	△24.2	415	53.0
総人件費	182	171	+11	+6.4	363	50.3

※上期予想: 2016年度決算発表時(2017年5月10日)公表

* 費用・損失の場合に△と表示

	2017年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減		※上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
コア営業利益	219	290	△70	△24.2	415	53.0
非経常項目*	△9	+1	△11	-	△10	-
営業利益	210	292	△81	△27.9	405	52.0
金融収益	10	12	△2	△21.3	-	-
金融費用	0	2	△1	△67.2	-	-
四半期利益(親会社帰属)	169	219	△49	△22.5	325	52.2

* 費用・損失の場合に△と表示

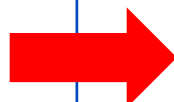
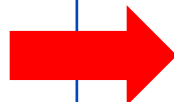
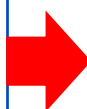
※上期予想:2016年度決算発表時(2017年5月10日)公表

開発パイプラインの進捗 等



開発パイプラインの進捗状況

2016年度決算発表(2017年5月10日)以降の進捗状況

製品名/治験コード	機序(予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
レミケード	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病における投与間隔の短縮)	日本					
MT-2412	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本					
MT-2990	炎症・自己免疫疾患 等	欧州					

◆ ニューロダーム社の強みは、臨床課題を解消するアイデア創出とそれを具現化する研究開発力



新剤形による新規投与ルートの開拓



患者QOL改善につながる新薬創製



特許の保有(研究開発力)



既存薬活用による開発リスク低減と
開発期間短縮

パーキンソン病の
アンメットメディカル
ニーズに合致した
魅力ある開発品

ND0612

ND0701

...

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

独自の価値を一番乗りでお届けする、
スピード感のある企業へ



田辺三菱製薬

補足資料



売上収益の内訳(第1四半期)

	2017年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減		※上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	1,077	1,054	+22	+2.1	2,125	50.7
(うち海外売上収益)	256	250	+5	+2.2	537	47.7
国内医療用医薬品	799	784	+15	+2.0	1,542	51.8
海外医療用医薬品	59	55	+3	+6.5	129	46.0
ロイヤリティ収入等	204	198	+6	+3.4	417	49.0
一般用医薬品	11	10	+1	+14.3	32	35.6
その他	1	6	△5	△76.6	3	50.5

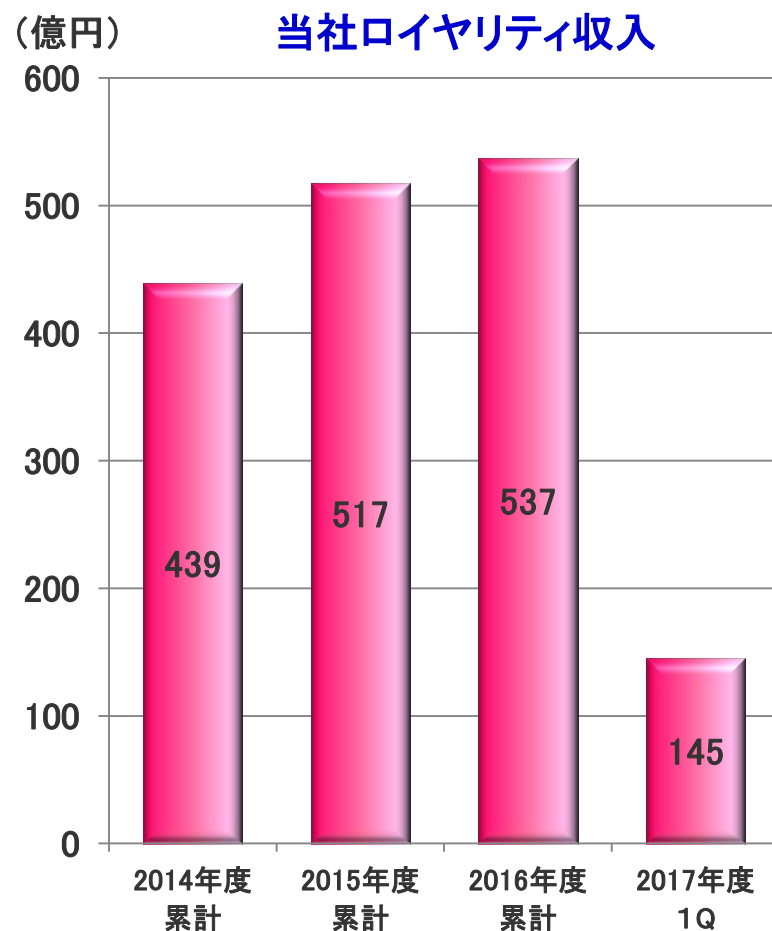
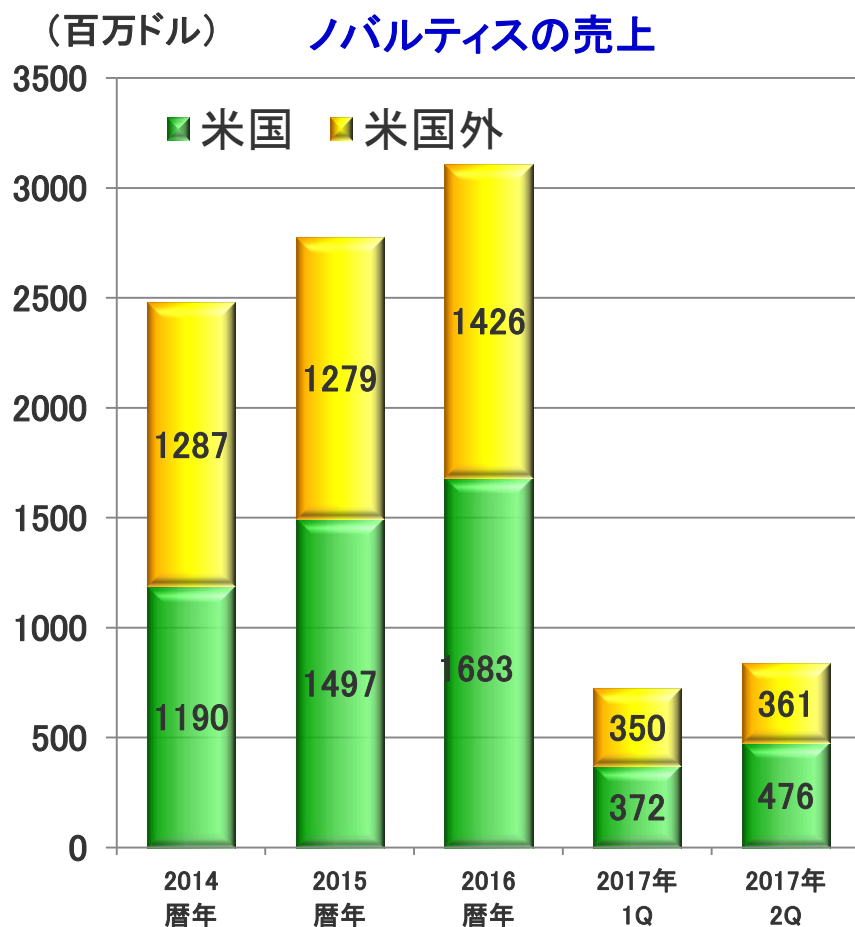
※上期予想:2016年度決算発表時(2017年5月10日)公表

国内医療用医薬品 重点品売上収益

	2017年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減		※上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	168	173	△5	△3.2	326	51.5
シンポニー	75	63	+12	+19.5	139	53.9
テネリア	46	38	+8	+20.9	86	54.0
タリオン	40	41	△1	△2.5	82	48.7
レクサプロ	31	28	+2	+9.2	61	50.9
カナグル	14	7	+7	+102.1	30	48.5
イムセラ	12	13	△0	△1.0	24	51.8
重点品合計	389	365	+23	+6.5	751	51.8
テトラビック	23	27	△4	△15.1	44	52.5
ミールビック	15	17	△1	△8.4	26	58.5
水痘ワクチン	14	14	+0	+0.3	28	50.7
ジェービックV	13	12	+0	+1.1	21	60.9
インフルエンザワクチン	△0	△1	+0	-	24	-
ワクチン合計	68	73	△4	△6.7	150	45.4
重点品・ワクチン合計	457	438	+18	+4.3	902	50.7

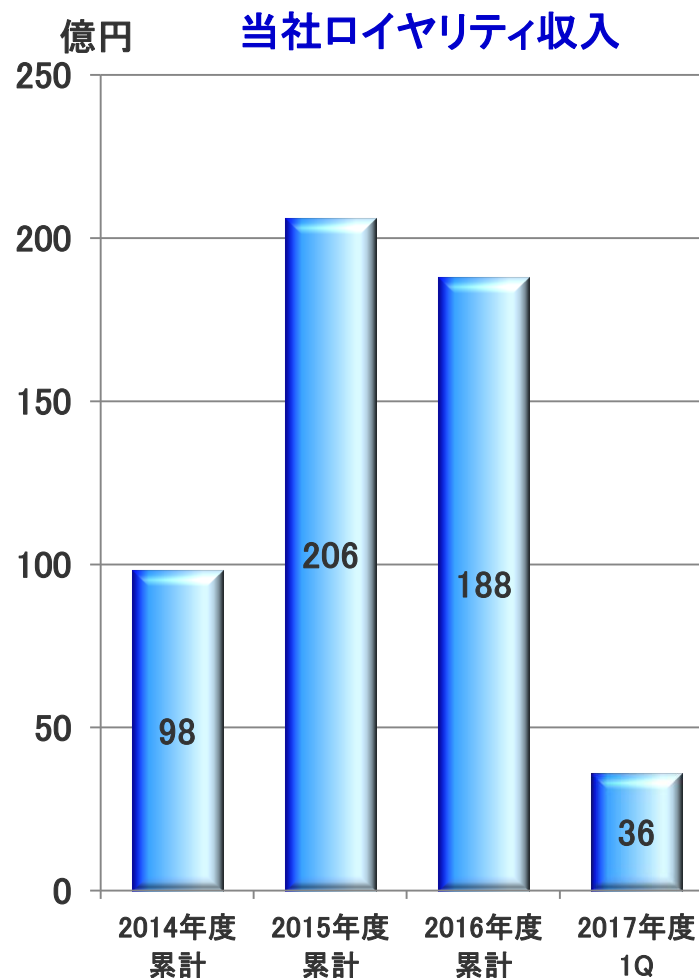
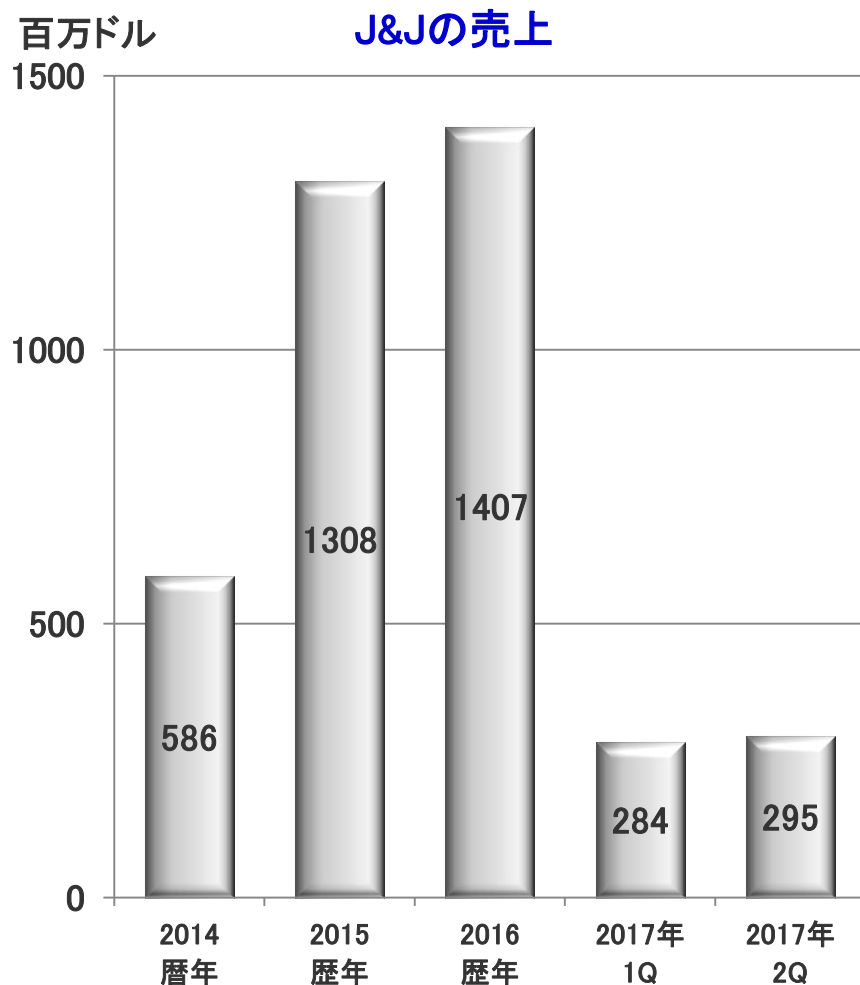
※上期予想:2016年度決算発表時(2017年5月10日)公表

- ◆ ノバルティスの2017年2Q(2017年4-6月)売上高は837百万ドル(前年同期 811百万ドル)
- ◆ 当社2017年度1Q(2017年4-6月)のロイヤリティ収入は145億円



インヴォカナ・インヴォカメット

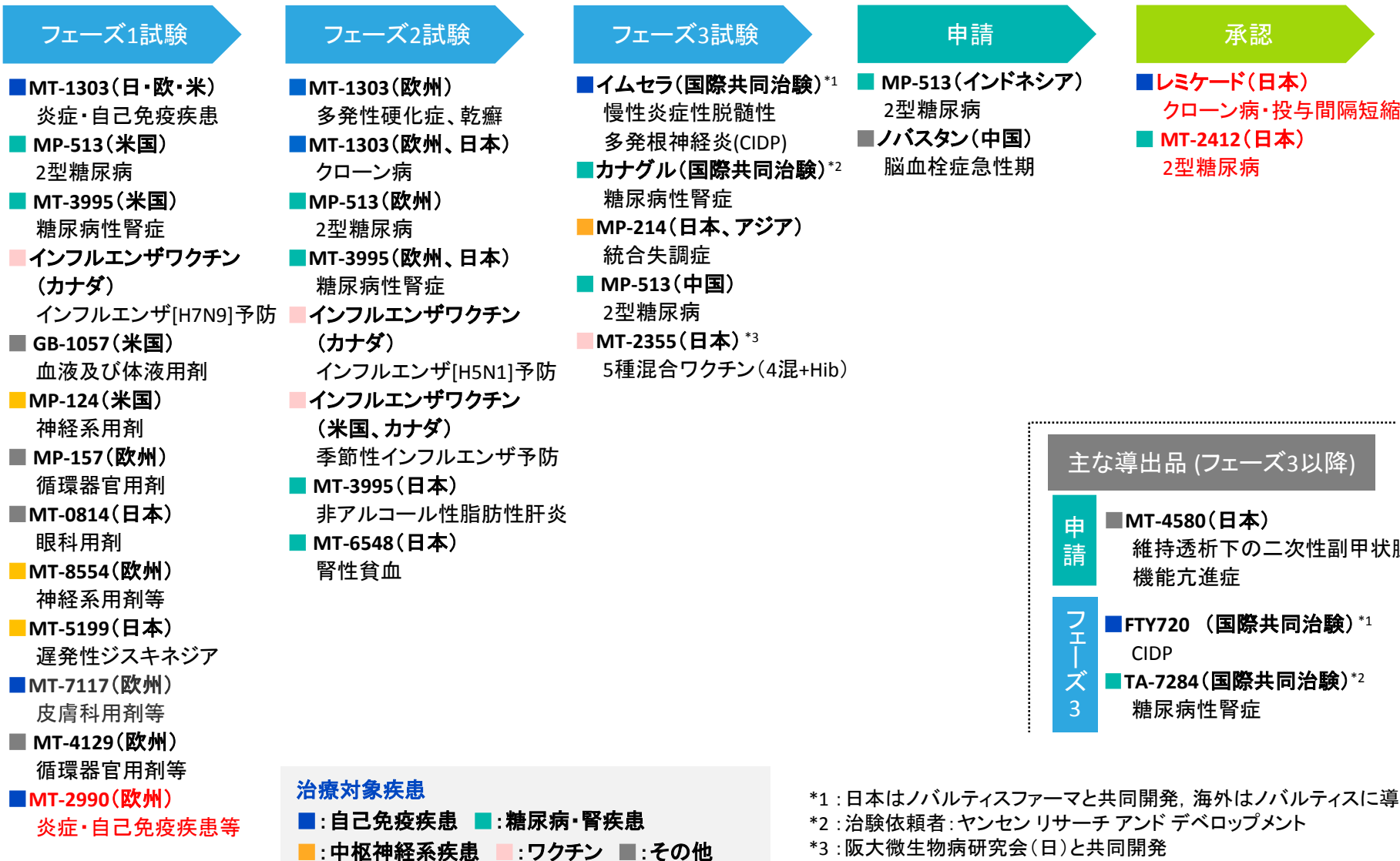
- ◆ J&Jの2017年2Q(2017年4-6月)売上高は295百万ドル(前年同期 383百万ドル)
- ◆ 当社2017年度1Q(2017年4-6月)のロイヤリティ収入は36億円



パイプラインの現状

赤字: 2016年度決算発表(2017年5月10日)以降進捗

2017年7月31日現在



*1 : 日本はノバルティスファーマと共同開発、海外はノバルティスに導出
 *2 : 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント
 *3 : 阪大微生物病研究会(日)と共同開発

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。